

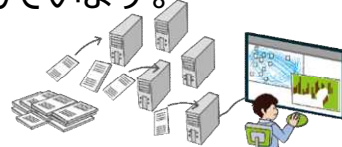
都市空間の屋内外におけるシームレスな測位の実現

より広いエリアで位置情報サービスが提供できればと感じたことはありませんか？

国土地理院では、公共的な屋内や地下街などに設置されたWi-Fiやビーコンをパブリックタグと位置づけ、屋外と整合した位置情報を付与・公開し、共有する仕組みを整備することで、屋内外シームレス測位の実現に取り組んでいます。



主な取り組み



標準化

位置情報や属性情報を標準化することで、正確さを確保し、様々なサービスで利用し易くします。

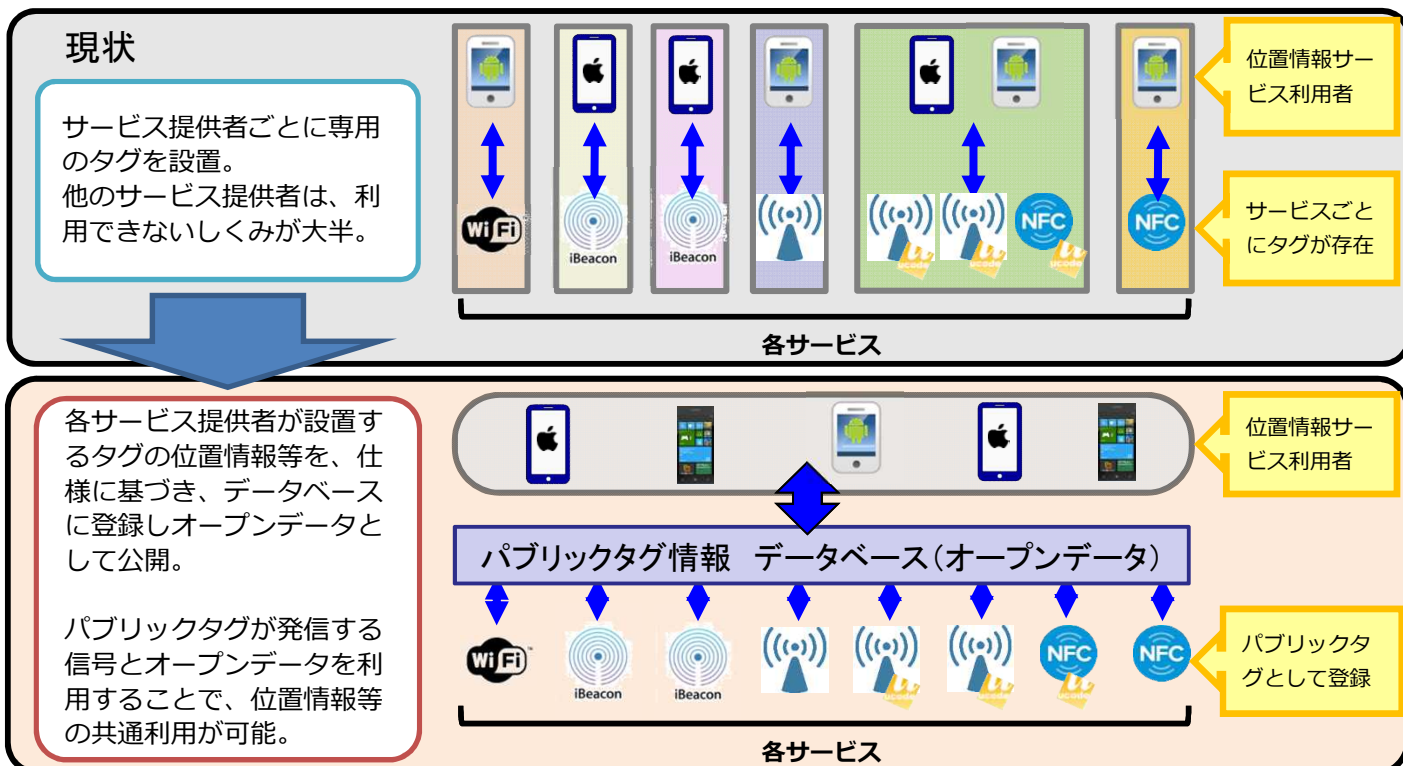
データベースの運用・公開

標準化した情報をデータベースに登録し、利用し易い形式でオープンデータとして公開します。

プロモーション

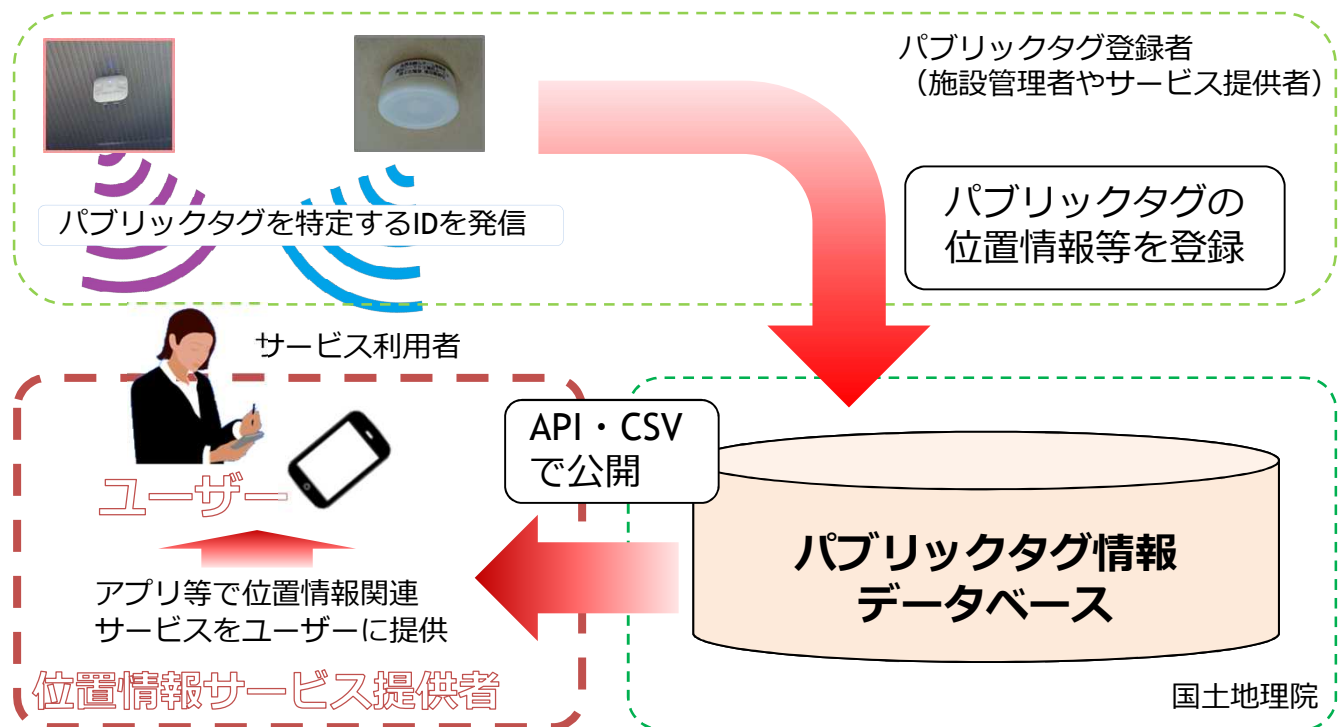
実証実験等に協力しパブリックタグの登録を促進します。

◆ パブリックタグ共通利用のイメージ



標準仕様に基づき登録し、オープンデータとして公開することで、複数の主体が設置したタグでも、共通に利用でき整合した位置情報が得られるため、シームレスなサービス提供が可能に

◆ パブリックタグを用いた位置情報サービス



◆ パブリックタグの登録情報（抜粋）

情報	内容
パブリックタグを特定するID	マックアドレスやUIDなどパブリックタグを特定するためのID。緯度、経度、高さの情報を128bitに組み込んだ場所情報コードも利用可能。
タグの種類	Wi-Fi、BLE、iBeacon、NFCなどのデバイス名。
位置情報（緯度・経度）と精度情報	パブリックタグの設置位置の緯度・経度。また、その計測方法を基にランク分けした精度情報。
高さ（階層）	建物の階数（1階、地下2階など）、地上、屋上など。
標高、精度区分、精度の信頼度	パブリックタグの設置位置の標高。また、その計測方法を基にした精度にランク分けした精度情報。
運用状態	運用状態。運用、停止、廃止。
可用性の指標	現地に存在するか、利用可能かを判断するための指標。設置者の運用ポリシーで分類（詳細は検討中）。
情報登録・更新日	データベースへ情報を登録・更新した日。

パブリックタグの詳細情報はここから →

http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html

パブリックタグのお問い合わせ先は →

gsi-ichikiban@ml.mlit.go.jp

